

Getinge Clean 中和剤

規制(EC) No. 1907/2006に適合
安全データシート

GETINGE
GETINGE GROUP

6001643530_MSDS_Neutralizer_JA_RevA

セクション 1: 物質/混合物の区分と 会社/事業の区分

- 1.1 組成、成分情報
製品コード XV1476
商標名 Getinge Clean 中和剤
- 1.2 製品の用法
アルカリ性洗剤の中和、あるいは医療用具の酸洗浄に使用する酸性液体。本製品は洗浄消毒器での使用を意図しています。
- 1.3 製造販売業者
安全データシートの製造販売業者の詳細
製造販売業者：
Getinge Disinfection AB, Ljungadalsgatan 11, Box 1505,
SE-351 15 Växjö, Sweden (スウェーデン)
電話: +46 (0)10 335 98 00
ウェブサイト: www.getinge.com
Eメール: info@getinge.com

製造販売業者 ニュージーランド：
Getinge Australia (NZ 支社)
Unit 4, 10 Cryers Road
East Tamaki, Auckland
Botany 2163
ニュージーランド
電話: +64 9 272 90393
- 1.4 緊急連絡先
製品のこぼれ、吸引もしくは飲み込みのような緊急事態が発生した場合、緊急ホットラインにご連絡ください。
EU: +44 (0) 123 523 96 70
オーストラリア: +61 280 144 558
日本: +81 345 789 341
中国: +86 105 100 30 39
中東: +44 (0) 123 523 96 71
ニュージーランド: +64 992 914 83

セクション 2: 有害性情報

(未希釈製品)

2.1		混合物の分類
2.1.1	1272/2008に準拠	健康上の有害性: 眼に対するダメージ 1 身体上の危険: 分類されていない 環境危険物: 分類されていない
2.1.2	1999/45/ECに準拠	指令1999/45/ECに基づいた分類: 刺激性
2.2	ラベル	
2.2.1	1272/2008に準拠	危険:  H318 - 眼に対する重大なダメージを引き起こします。 P280 - 保護用手袋/防護服/防護メガネ/防護マスクを着用してください。 P302+P352 - 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗ってください。 P305+P351+P338+P313 - 眼に入った場合: 水で数分間じゅうぶんに洗い流すこと。できるかぎりコンタクトレンズを外すこと。水によるすすぎを続けること。医師の診断/手当を受けてください。 P405 - 施錠して保管してください。
2.2.2	1999/45/ECに準拠	 R36/38 - 目と皮膚に刺激性がある。 S37/39 - 適切な手袋と保護眼鏡/保護面を着用すること。 S26 - 眼に入った場合、直ちに多量の水で洗い流し医師の診察を受ける。 S28 - 皮膚と接触した場合、直ちに多量の水で洗浄すること。 S2 - 子供の手の届かない場所に保管する。
2.3	その他の危険性	確認されているものではありません

セクション 3: 成分、組成の情報

3.1

材質	CAS番号	レベル	危険性(セクション16を参照)
クエン酸	77-92-9	> 30 %	眼に対する刺激性 2 H319

セクション 4: 応急措置

4.1 応急措置の説明

目に付着：	目蓋を開けて、直ちに水で洗眼してください(最低10分間)。炎症が続く場合、医師の診断を受けてください。
皮膚への付着：	汚染した衣服を脱ぎ、石けんと水で皮膚を洗浄してください。炎症が続く場合、医師の診断を受けてください。
吸入：	炎症が発生した場合、新鮮な空気のところへ移し、暖かくして休ませ、直ちに医師の診断を受けてください。
摂取：	無理に吐かせないでください。意識がある場合、水を飲ませてください。直ちに医師の診断を受けてください。
応急手当て担当用PPE:	身体への接触を防止するために保護衣を着用してください。(第8.2項を参照)

4.2 最も重要な症状と影響 (急性と遅発性)

目に対する危険性：	深刻な炎症と損傷を引き起こします。
皮膚に対する危険性：	炎症を引き起こします。

呼吸器に対する危険性：

通常使用で危険性はありません。噴霧物質を吸入すると炎症を起こすことがあります。

その他の危険性：

4.3 必要な応急処置と特別な治療の目安

第4.2項に記載されている以外に特別な治療や処置は必要ありません。

セクション 5: 火災時の措置

可燃の危険性：

可燃性ではありません。

5.1 消火媒体

特別な条件なし。火災の原因に応じて適した消火剤を使用してください。

5.2 物質や混合物に起因する特殊な危険

混合物に起因する特殊な危険はありません。

5.3 消防士へのアドバイス：

混合物については特になし。

セクション 6: 漏出時の措置

6.1	人体に対する注意事項、 保護具と緊急時措置	<p>接触しないよう注意してください。人体用防護装置を使用のこと(セクション 8を参照)。</p> <p>床にこぼれると滑りやすくなります。周囲に邪魔なものがないようにしてください。規制を順守してください。</p>
6.2	環境的注意事項	<p>漏れた物質が水路に入らないようにしてください。</p>
6.3	封じ込めと掃除の方法 および材料	<p>少量の場合は、モップでふき取るか不活性の吸収剤を使用してください。</p> <p>大量の場合、流れを止めて吸収するか、適切な容器へ汲み上げてから廃棄してください。</p>
6.4	他の項の参照項目	<p>セクション 8とセクション 13のアドバイスに従ってください。</p>

セクション 7: 取り扱いおよび保管上の注意

	貯蔵期間:	メーカーオリジナルの密閉容器で24ヶ月。
7.1	安全な取り扱いに関する注意事項	<p>他の製品と混ぜないでください。産業衛生の推奨事項に従ってください。</p>
7.2	安全な保管条件(配合 禁忌を含む)	<p>結氷のない涼しくて乾燥した場所で保管し、酸類や強酸化剤から隔離してください。メーカーオリジナルの容器に入れ、立てた状態で保存してください。推奨保管温度は5 - 25 °Cです。</p>
7.3	製品の用法	<p>中和における分注レベル 1 ~ 2 ml/lt、酸洗浄の場合最高温度50 °Cで1 ml/lt。</p> <p>ポリカーボネートには使用しないでください。処理液に曝されるすべての材質は耐酸性であることを確認してください。</p> <p>他の製品と混ぜないでください。</p>

セクション 8: 曝露防止および人に対する保護措置

8.1	管理パラメータ	作業場での曝露限界値 未設定
8.2	曝露防止	<p>この措置は、一般的な使用方法に関する基本的内容を参考例として提示するものであり、製品の潜在的な使用すべてに適用するものではありません。ユーザーは、特定のプロセスや作業システムに関するリスクアセスメントを完全に実施する責任を持っています。</p> <p>目の保護具： BS EN 166に準拠したゴーグルを装着してください。</p> <p>手の保護具： ニトリルまたはネオプレン手袋を着用してください。指定されたリスクアセスメントに基づいて適切な手袋の選択をしてください。</p> <p>身体の保護具： 身体への接触を防止するために保護衣を着用してください。</p> <p>呼吸器の保護具： 換気の良い場所で使用し、噴霧物質を吸いこまないでください。必要に応じてEN149に準拠した防塵マスクを着用してください。</p> <p>その他の保護具： 個別の保護装置：</p> <p> </p> <p>実施されるプロセスに関する特定のリスクアセスメントに基づいて適切な個人防護具を選択してください。</p> <p>環境保護： 混合物が水路に入らないようにしてください。</p>

セクション 9: 物理的および化学的性質

9.1 物理的および化学的性質に関する情報

外観:	無色ないしは薄黄色の液体	
におい:	独特なにおい	
pH:	出荷時 1.2 (代表値) 5 mlで希釈した場合 2.2 (代表値)	
初期沸点:	> 100 °C	引火点: データなし
発火点:	データなし	粘性: 6.9 cSt
爆発特性:	なし	
酸化特性:	なし	
蒸気圧:	データなし	
溶解性:	水と混合可能	
20 °C における相対密度:	1.17 (代表値)	

9.2 その他の注意

セクション 10: 安定性と反応性

10.1	反応性	強酸化剤およびアルカリには不適合。酸に敏感な材質との接触は避けてください。
10.2	化学的安定性	推奨保管条件下で安定。
10.3	有害反応の可能性	有害反応の可能性なし。
10.4	避けるべき条件	極端な温度。
10.5	混触 危険物質	強酸化剤と酸類には不適合。酸に敏感な材質との接触は避けてください。
10.6	危険有害な分解生成物	なし。

セクション 11: 有害性情報

11.1 毒性効果に関する情報

急性毒性

急性毒性に分類される成分は含まれていません。

皮膚腐食性 / 刺激性:

皮膚腐食性/皮膚刺激性に分類される成分は含まれていません。

目に対する重大なダメージ / 炎症:

混合物は眼に対するダメージ 1に分類されています。セクション2を参照してください。

呼吸器官または皮膚の感作:

炎症の原因に分類される成分は含まれていません。

生殖細胞変異原性:

変異原性に分類される成分は含まれていません。

発がん性:

発がん性に分類される成分は含まれていません。

生殖毒性:

生殖に対する毒性に分類される成分は含まれていません。

STOT 単回曝露:

STOT 単回曝露に分類される成分は含まれていません。

STOT 繰り返し曝露:

STOT 繰り返し曝露に分類される成分は含まれていません。

吸引性毒性:

吸引性毒性に分類される成分は含まれていません。

曝露/症状の経路

目に付着：	深刻な炎症と損傷を引き起こします。
皮膚への付着：	炎症を引き起こします。
吸入：	噴霧物質を吸入すると炎症を起こすことがあります。
摂取：	低い毒性。酸度によって胃腸周辺に炎症を引き起こすことがあります。

セクション 12: 環境的情報

12.1	毒性	環境に対する危険物には分類されていません。未処理で水路に流された場合、低pH値のために水生生物へ影響を及ぼすことがあります。
12.2	残留性と分解性	すべての有機成分は十分に希釈されている場合、生分解可能です。
12.3	生体内蓄積能	生体内への蓄積はないと考えられます。
12.4	土壌での可搬性	本製品は高い水溶性を持っています。
12.5	PBT および vPvB アセシメント	PBT または vPvB に分類される成分は含まれていません。
12.6	他の有害な作用	他の有害な作用はないと考えられます。

セクション 13: 廃棄上の注意

- 13.1 廃棄方法
- 工程廃水は通常、詰まった下水に廃棄可能です(承諾限界値に準じる)。
余った製品とパッケージの廃棄は、認可を受けている化学薬品処理業者に依頼してください。
汚れが除去された空の容器は、専用施設でリサイクルするか、認可を受けているゴミ処理または焼却施設へ送ることができます。
-

セクション 14: 輸送上の注意

- 14.1 国連番号: 分類されていません。
Tariff/TARIC 3402 90 90
- 14.2 UN 正規出荷名: データなし
- 14.3 危険物輸送クラス: データなし
- 14.4 パッキンググループ: データなし
- 14.5 環境危険物: 環境危険物として分類されていません。
- 14.6 使用者への特別な注意事項なし。 特別な注意事項はありません。
- 14.7 MARPOL 7 3/78の Annex II およびIBCコードに従ってバルク輸送 バルク輸送用はありません。

セクション 15: 適用法令

- | | | |
|------|----------------------------------|------------------------------------|
| 15.1 | 当該物質または混合物に固有の安全、健康、環境についての規制/法規 | 洗浄剤に関する(EC)規制 No. 648/2004 に従った内容。 |
| 15.2 | 化学物質の安全性アセスメント | 化学物質の安全アセスメントは行われていません。 |
-

セクション 16: その他の注意

成分に関するハザードステートメント(セクション3を参照)。	H319 - 眼に対する重大な炎症を引き起こします。
-------------------------------	----------------------------

低いpH製品のため、眼に対するダメージ 1の分類が必要です。

発行日:
2014年8月18日

発行番号: 1

出版日:
2014年9月11日

業界の正しい慣行および各種法令に従って、本製品の保管、取り扱いおよび使用を実施する必要があります。本データシートは、現時点で入手できるデータや資料を基に作成しており、安全要件の見地から製品説明を実施することを目的としています。従って、ここに記載されている具体的特性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。なお、本データシートは、ユーザーの用途・用法に対して製品が適切であることを確認するために使用されます。

6001643530_MSDS_Neutralizer_JA_RevA

GETINGE
GETINGE GROUP

Getinge Infection Control AB
P O Box 69, SE-305 05 Getinge, Sweden(スウェーデン)
電話: +46 10 335 00 00
info@getinge.com
www.getinge.com

GETINGE GROUP

Getinge Group は、ヘルスケアおよびライフサイエンスの分野において、品質向上と費用対効果性に貢献する製品及びシステムを提供する世界的なリーディングプロバイダーです。ArjoHuntleigh、Getinge、およびMaquetの3つのブランドを基に事業を行っています。ArjoHuntleighは、患者移動および創傷管理のソリューションに注力しています。Getingeは、ヘルスケアおよびライフサイエンスにおける感染管理のためのソリューションを提供しています。Maquetは、外科的処置、インターベンショナル心臓内科治療、および集中治療のためのソリューション、療法、及び製品を専門としています。
